



桜花爛漫の石川門（金沢市）

CONTENTS

- 第57回通常総会
- 第3回理事会・監事会
- 土地改良事業功労者表彰
- 全土連第57回通常総会
- 全土連第56回功労者表彰
- 換地計画実務研修
- 松任土地改良区50周年記念
- 県営中山間地域総合整備事業「竹橋地区」完工式
- 第38回全国土地改良大会（青森大会）のご案内
- 第39回全国土地改良大会の開催決定
- いしかわ農地・水・環境協議会だより
〔福久愛護会（県央支部）〕
- 21創造運動いしかわだより
〔河北潟水土里ネットかんたく〕
- 人事異動
- 連合会事務局組織図
- 連合会日誌（1月～3月行事）
- 農業基盤整備資金の金利改定について

第57回 通常総会を開催

本会は、3月24日、第57回通常総会を石川県土地改良会館で開催した。

総会には会員87団体が出席、来賓として石川県から谷本正憲知事、堀畑正純農林水産部長、西川透農業基盤課長、北陸農政局から雑賀幸哉局長、杉山一弘設計課長、県議会からは吉崎吉規議長の臨席を賜った。

西村会長は、開会挨拶で「生産基盤の整備として、コスト低減と農地集積に向けた大区画ほ場整備の推進、老朽ため池など農業用施設における防災対策の強化、ため池ハザードマップの作成や多面的機能支払制度等について、会員と連携して技術的支援や提案、助言などに積極的に取り組んでいく」と表明するとともに、平成28年10月に開催する第39回全国土地改良大会への協力をお願いした。

その後土地改良事業功労者表彰が行われ、1団体10個人が表彰された（次頁掲載）。引き続き、来賓祝辞、来賓紹介、祝電披露の後、河北潟干拓土地改良区理事長焼田宏明氏を議長に選出して議事に入った。

議案として上程した平成25年度事業報告・収支決算及び財産目録のほか議案6件が可決承認された。

また、任期満了に伴う役員を選任が行われ、本会初となる女性理事1名を含む理事14名、監事3名が選任された。

なお、選任された役員は、任期は、平成27年4月1日から平成31年3月31日までの4年間。

総会終了後、理事会、監事会が開催され、会長、副会長、専務理事、代表監事が選任された。



選任された理事、監事は次のとおり。

【役員】

会 長	西村 徹	(学識経験者)
副 会 長	酒井悌次郎	(能美市長)
副 会 長	梶 文秋	(輪島市長)
専務理事	小林 善隆	(学識経験者)
理 事	泉谷満寿裕	(珠洲市長)
理 事	山辺 芳宜	(羽咋市長)
理 事	杉本 栄蔵	(中能登町長)
理 事	矢田 富郎	(津幡町長)
理 事	和田 慎司	(小松市長)
理 事	山野 之義	(金沢市長)
理 事	不嶋 豊和	(七尾市長)
理 事	宮元 陸	(加賀市長)
理 事	本屋彌壽夫	(手取川七ヶ用水土地改良区理事長)
理 事	丸山 愛子	(学識経験者)
代表監事	津田 達	(宝達志水町長)
監 事	小林 昶夫	(辰巳用水土地改良区理事長)
監 事	相川 貞重	(松任土地改良区理事長)

※市町長は、市町長名のみ記載。

第3回理事会・監事会を開催

2月23日に平成26年度第3回理事会が石川農林会館において開催され、平成26年度事業中間報告、平成26年度一般会計収支補正予算(案)、第57回通常総会提出議案等に

ついて慎重に審議がなされた。

また、理事会に先立って2月18日本年度第3回監事会が土地改良会館で開催され、平成26年度業務等についての中間監査が行われた。

土地改良事業功労者表彰

第57回通常総会において、土地改良事業に関して功績顕著で他の模範となる1団体並びに永年土地改良事業に貢献のあった10個人に対し、西村会長から表彰状と記念品が贈られその功績を称えた。



○ 土地改良事業功労者表彰受賞者 (順不同・敬称略)

【団体の部】 (1団体)

羽坂ほ場整備組合 (組合長 辻井 求)

【個人の部】 (10名)

村田 博	菅谷土地改良区理事長	村 政與志	河野土地改良区理事
西方 洋治	加賀三湖土地改良区理事	毛 藤 忠 夫	辰巳用水土地改良区代表監事
中村 與三郎	小松東部土地改良区総括監事	加藤 大 樹	津幡町農林振興課主事
岡田 武 洋	能美市土地改良区理事	瀧 中 一 雄	田鶴浜町土地改良区監事
藤本 昌 宏	河野土地改良区理事	崎 田 和 平	輪島市土地改良区理事

決 議

農業農村は、国の大本であり、豊かな国土や自然環境も、農業・農村が健全であった初めて維持されるものである。このため先人たちは、農業・農村の健全な発展のために、農地や農業用水路など地域資源の維持向上に向け、献身的な努力を続けてきた。

しかし、農業・農村においては、依然として、過疎化、高齢化、担い手不足さらには人口減少に伴う地域活力の低下等に加え、コメを巡る状況も厳しさを増すなど課題が山積している。こうした状況の下、政府は農業・農村の所得倍増を目指し、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」、「国土強靱化」の実現に向け、種々の施策を展開しているところである。

一方、農業農村整備の着実な推進に必要な予算は、平成二十五年以降回復基調にあるものの、また、農業競争力の強化や施設の長寿命化、防災・減災対策に対する地域のニーズに十分対応しているとは言えない状況である。

我々、水士里ネットは、貴重な資源である「水」と「土」を守り、育み、食の安全・安心を確保するため、土地改良事業が地域に密着した真に必要な事業であること強く訴えるとともに、農業・農村の持続的な発展と活性化の推進に向け、引き続き必要な予算の確保と、左記事項の実現を総会の名において決議する。

記

- 一 農業の生産効率を高め競争力強化を図る上で不可欠な、ほ場の大区画化や汎用化等の基盤整備の実施と、農地中間管理機構とも連携した担い手への農地集積・集約化を推進すること
- 一 頻発する地震・集中豪雨等の自然災害は、農業のみならず地域住民の生活をも脅かすことから、老朽化した農業水利施設の長寿命化・耐震対策・洪水被害防止対策強化等に係る取り組みを推進すること
- 一 土地改良施設の公共公益的機能が益々増大する中で、農業水利施設の有効活用を図るため、計画的な整備補修による効率的な機能保持と、長寿命化に不可欠なストックマネージメントを推進すること
- 一 農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮のため、地域の協働力を活かした地域ぐるみの活動を適切且つ円滑な支援で良好な地域社会の維持・形成に重要な役割を果たす多面的機能支払を推進すること
- 一 農業用水等農村地域の再生利用可能エネルギーを有効活用する発電の促進は、土地改良施設の維持管理で農家の負担軽減に資することから、小水力等発電施設整備のより一層の推進と併せて、現行の買取価格を維持すること

平成二十七年三月二十四日

石川県土地改良事業団体連合会
第五十七回通常総会

全土連第57回通常総会が開催される

3月25日、全国水土里ネットの第57回通常総会が、都市センターホテル（東京都千代田区平河町）3階コスモスホールにおいて開催された。

まず野中全土連会長が挨拶を述べ、佐賀県土連の田中源一会長が議長に選出され議事に入った。

提出議案は平成25年度決算、平成26年度中間報告及び補正予算、27年度当初予算など予算関連・事業計画他の11議案と役員を選任についての1議案が上程され、いずれも満場一致で可決承認された。



全国水土里ネット第56回功労者表彰

3月25日、全国水土里ネットの第56回土地改良功労者表彰が、総会終了後に東京都千代田区平河町のシェーンバツハ・サポーにおいて開催され、本県からは3個人が全国土地改良事業団体連合会長表彰を受賞した。

【個人の部】

- 役員 安田 彦三（野々市市土地改良区理事長）
- 職員 長原 克信（河北潟沿岸土地改良区事務局長）
- 職員 今村 茂（石川県土地改良事業団体連合会総務課長）



換地計画実務研修を開催

石川県換地センターは、1月30日、石川農林会館において平成26年度換地計画実務研修を開催した。この研修は、水土総合強化推進事業の実施要綱、同要領により換地事務の促進に資することを目的として、換地事務に従事している換地技術者等を対象としている。

本年度は県、市町、土地改良区、県土連の職員合わせて16名が参加し、換地計画作成実務に加え、金沢地方法務局から相続等代位登記について講義が行われた。また、北陸農政局から換地に関する最近の動向と題し、行政不服審査法の一部改正の講義が行われ、換地業務への理解を深めた。

研修カリキュラムは次のとおり。



講義内容	講師
相続等代位登記について	金沢地方法務局 登記部門 登記官 上島政洋
換地に関する最近の動向 ～行政不服審査法の一部改正など～	北陸農政局 土地改良管理課 土地改良指導官 山崎祐治
土地評価と換地清算について	石川県土地改良事業団体連合会 事業部換地課 係長 倉田景一
換地計画書の申請・提出時の留意点について	石川県農林水産部農業基盤課 主事 誉田純一
換地計画書作成実務	石川県換地センター 高明人

松任土地改良区が50周年を迎える

北陸有数の穀倉地帯、石川平野を受益地を持つ松任土地改良区がこのほど創立50年を迎え、3月22日、白山市民交流センターにおいて記念式典を行った。式には、関係者144名が出席し、相川貞重理事長の挨拶のあと、今日まで事業の推進と改良区の運営に貢献された方々へ感謝状が贈呈された。続いて、山田憲昭白山市長、吉崎吉規県議会議員、寺越和洋白山市議会議員、前松伸県石川農林総合事務所長及び本会の西村徹会長が祝辞を述べた。

松任土地改良区は、昭和40年、松任町内13地区の土地改良区の合併により誕生し、その後積極的なほ場整備に取り組み、県下の先進的な大区画モデル地区となった。実施した区画整理は県営ほ場整備事業だけでも延べ15地区約2,600haにもなっており、受益地の約8割にあたる水田農地が30a～100aの大区画の優良農地に生まれ変わり、近代農業が確立された。これらの功績が評価され、昭和61年に全国土地改良事業団体連合会団体表彰で金賞を受賞している。

なお、土地改良区ではこれを機に、半世紀の歩みを記録した50周年記念誌「土地改良 地域と共に 50年のあゆみ」を発刊した。



挨拶する相川貞重理事長

県営中山間地域総合整備事業「竹橋地区」完工式

3月23日、県営中山間地域総合整備事業「竹橋地区」の完工記念式典が津幡町竹橋地内で行われ、県、町、本会、地元関係者など54名が出席した。

本地区は、昭和38年から39年にかけての一次整理で10a区画に整備されたほ場を、1区画30aの大区画化にするとともに、農道の拡幅、排水路のフリーム化、用水の自然流下方式のパイプラインの実施及び自動給水栓の設置による水管理労力の軽減など

も可能となった。また、竹橋集落では、本事業を契機として、平成22年に竹橋営農組合を設立、平成26年には法人化するとともに、大型機械の導入と農地を集積し、営農コストの軽減も図られた。



【事業概要】

- 受益面積 21.3ha
- 工期 平成21年度～平成26年度
- 事業費 470,000千円

第38回全国土地改良大会〔青森大会〕

～あづましの風流れる青森大会～
土地改良の路繋ぎ 明日への確かな途拓く

【大会式典】

- 日 時 平成27年10月15日(木) 13:00～
- 場 所 新青森県総合運動公園 (マエダアリーナ)
- 主 催 全国土地改良事業団体連合会
青森県土地改良事業団体連合会



第39回全国土地改良大会の開催が決定！

平成27年3月4日、全国土地改良事業団体連合会の理事会において、かねてより申請していた第39回全国土地改良大会の石川県での開催が承認された。

本県での開催は、平成10年の第21回大会に続き2回目となる。この決定により本会では平成28年10月の開催に向け、本格的な準備に入ることとしている。

用排水路管理を通して

●●● 福久愛護会(県央支部) ●●●

金沢市福久町では、10 数年前から生産組合と町会が連携して、梅雨時期の用排水路の点検・管理を行っている。

当地区は、昔から水不足が深刻で農家は地下水を汲み上げ水田に取り入れる苦労を重ねてきたことから、配水時に用排水路が果たす役割は大きく日常の管理が重要であった。



調査員

近年は、耕作者の減少に伴い益々、用排水路の管理への影響が懸念される中、当地区では保全管理の手法として警告制度を発案、実行している。

警告制度は、点検時に生産組合と町会で組織した点検調査員のグループが用排水路の沿線各所を点検し、土砂の堆積、雑草の繁茂等の箇所があれば、サッカーの「イエローカード」を模した黄色い立て札を現地に設置して耕作者に注意を促すこととしており、警告を受けた耕作者は2週間以内に泥上げ等の処

理をしなければならぬ。もし、改善されていない場合は「レッドカード」の立て札となり、再度警告されることとなる。

この警告制度により、耕作者に対して不良箇所が分かりやすく対処しやすいことや、点検者が毎年変わっても地域の全員が活動内容を把握することで、管理体制の継続と向上につながっている。

そのほか、春先には「箇所廻り」と称して水路、樋の泥上げ、修理を行い、秋には農道補修としての砂利敷き、河川堤防の草刈りを行っている。

最近では年々、若者の参加も増えており地域のコミュニケーションを図る場ともなっている。



イエローカードの設置



レッドカードとなった箇所



“21創造運動”いしかわだより

河北潟干拓地で一斉清掃、植樹

●●● 河北潟水土里ネットかんたく ●●●

3月20日、河北潟水土里ネットかんたくは、河北潟干拓地区管理体制整備推進協議会、グリーン・アース農地・水・環境保全組織(事務局：河北潟水土里ネットかんたく)と共催で河北潟干拓地の一斉清掃を行った。

これは、干拓地の道路沿いにゴミや空き缶、古タイヤ、テレビ、冷蔵庫といった大型家電等の不法投棄があつたことから、環境保全の一



清掃作業

環として毎年実施しているもので、干拓地農家や県、市町、県土連の職員など150名が参加し、2トンのゴミを收拾した。



植樹作業

また、3月21日には干拓地湖東の防風林帯において、景観対策の一環のため、参加者100名がヤブツバキ、ムクゲ、サルスベリ、エノキなどの苗木320本の植樹作業に汗を流した。

人事異動

○農林水産省 農村振興局

平成27年4月1日付

(新)					
農村政策部	農村計画課	耕作放棄地活用推進室長	古賀	徹	
整備部	水資源課	施設保全管理室長	大内	毅	
同	農地資源課	経営体育成基盤整備推進室長	高橋	広	道
同	同	農地・水保全管理室長	柵木	環	
同	防災課	災害対策室長	鈴木	浩	之
同	農村整備官付	農村整備情報分析官	古澤	清	崇
同	設計課	技術調査官	日置	秀	彦

○北陸農政局

平成27年4月1日付

(新)					
土地改良技術事務所	次長	長田	朋二		
整備部	所長	中村	敏郎		
農村計画部	次長	垂井	良充		
整備部	事業計画課	宮野	祐彰		
同	設計課	富田	晋司		
同	用地課	竹本	政広		
同	水利整備課	藤原	裕史		
同	農地整備課	緒方	博則		
同	防災課	後藤	高広		
同	農地整備課	山地	田治		
	農地・水保全管理室長				

【石川県新体制】

平成27年4月1日付

農林水産部	部長	棗	佐登志		
	参事(農林担当)	中田	峰示		
	次長(事務担当)	安田	秀樹		
里山振興室	次長(農業土木担当)	前寺	清一		
	室長	西川	透		
農業基盤課	課長	前川	久義	担当課長	古西広
	担当課長(里山振興担当)	北出	一郎	(事業監理担当)	
農業政策課技術管理室	室長	道下	真也	担当課長	角村勝久
南加賀農林総合事務所	所長	竹田	文雄	土地改良部長	三浦正幸
石川農林総合事務所	所長	黒田	晃	土地改良部長	川崎義郎
県央農林総合事務所	所長	奥本	勉	土地改良部長	鶴見正樹
中能登農林総合事務所	所長	美作	多加志	土地改良部長	石垣広男
奥能登農林総合事務所	所長	津川	久孝	土地改良部長	白池秀紀
羽咋農林事務所	所長	米田	和正		
大日川ダム管理事務所	所長	矢来	正巳		

○石川県土地改良事業団体連合会

平成27年4月1日付

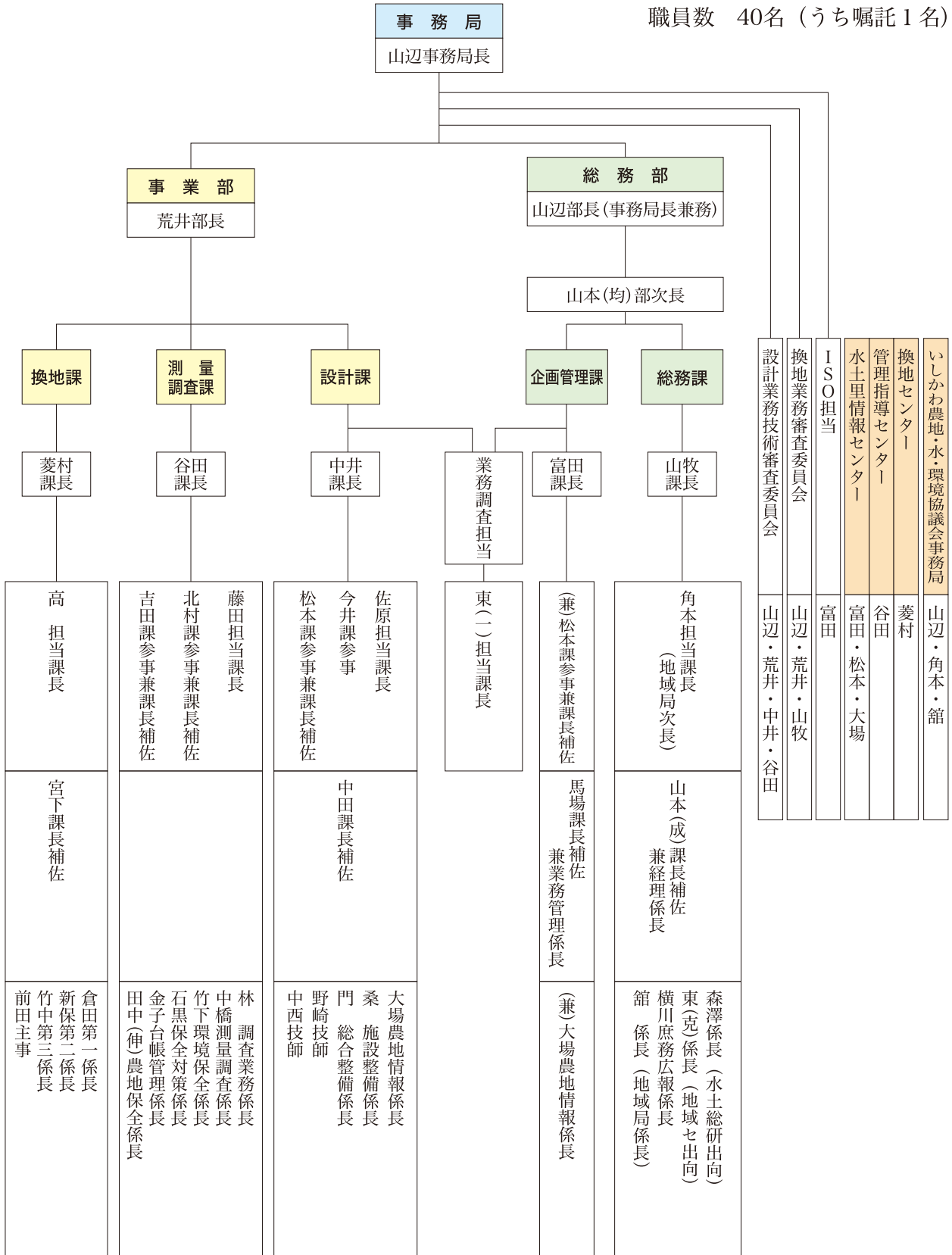
新規採用		中西	裕亮	事業部設計課
------	--	----	----	--------

平成27年3月31日付

退職		道下	昭一	総務部 担当次長
退職		今村	茂	総務部総務課 課長
退職		田中	隆夫	事業部換地課 課長補佐

平成27年度石川県土地改良事業団体連合会 事務局機構図

平成27年4月1日現在
職員数 40名（うち嘱託1名）



連合会日誌

1月

- 7日 石川県農業農村整備事業推進協議会知事要望
(県庁)
- 21日 石川県農業農村整備事業推進協議会合同要望活動
(東京)
- 23日 石川県農業会議常任会議員会議 (県庁)
- 同日 日本水土総合研究所調査研究発表会 (東京)
- 27日 石川県基幹水利施設管理協議会研修会
(ホテル日航)
- 27・28日 ISO外部監査 (土地改良会館)
- 30日 換地計画実務研修 (農林会館)

2月

- 16日 河北潟沿岸地区管理体制整備推進協議会総会
(津幡町役場)
- 同日 河北潟干拓地区管理体制整備推進協議会総会
(津幡町役場)
- 17日 平成26年度災害復旧技術向上のための講習
(県庁)
- 18日 第3回監事会 (土地改良会館)
- 19日 全土連表彰審議会 (砂防会館)
- 20日 石川県農業会議常任会議員会議 (県庁)
- 23日 第3回理事会 (農林会館)
- 24日 平成26年度農業農村整備地方セミナー
(県教育会館)
- 26日 都道府県土連事務責任者会議 (全国都市会館)

3月

- 2日 北陸四県協議会事務責任者会議 (新潟県柏崎市)
- 13日 構造改革推進ほ場整備全国研究会 (全国都市会館)
- 19日 平成26年度農業農村整備及び農業土木の技術向上に関する検討委員会 (県庁)
- 20日 石川県農業会議第59回定期総会・常任会議員会議 (県庁)
- 同日 第35回珠洲市土地改良区通常総代会
(珠洲市産業センター)
- 21日 石川県立大学卒業式 (県立大)
- 22日 松任土地改良区50周年記念式典
(白山交流センター)
- 23日 平成26年度宮竹用水管理体制整備推進協議会
(グランディア小松)
- 同日 県営中山間地域総合整備事業「竹橋地区」完工式
(津幡町竹橋地内)
- 同日 邑知潟地区管理体制整備推進協議会通常総会
(邑知潟土地改良区)
- 24日 第57回通常総会 (土地改良会館)
- 同日 第4回理事会・監事会 (土地改良会館)
- 25日 全土連通常総会 (都市センター)
- 同日 全国水土里ネット表彰式 (シェーンバッハ)
- 同日 平成26年度全国水土里情報活用促進会議総会
(都市センター)
- 26日 平成26年度第1回加賀三湖地区管理体制整備推進協議会
(南加賀福祉センター)
- 27日 手取川七ヶ用水土地改良区総代会
(白山市民センター)

農業基盤整備資金の金利改定について

下記のとおり4月20日付けで改定されましたのでお知らせします。

◎株式会社日本政策金融公庫

(単位：%)

区 分	現 行	改 定
県 営	0.95	<u>0.85</u>
団 体 営	0.80	<u>0.70</u>
非 補 助	0.80	<u>0.70</u>

※災害については償還期間により利率が異なりますので、公庫にお問い合わせ下さい。

平成27年度 石川県土地改良事業団体連合会 職員採用試験のお知らせ

本年度、本会では職員採用試験（一般事務）を実施する予定です。
日程については、ホームページに掲載予定です。

<http://www.midori-net.jp>
電話：076-249-7181

編集兼発行：金沢市古府1丁目197番地
石川県土地改良事業団体連合会
電話 076-249-7181
印刷所：(株)谷印刷

